

学校評価アンケート(R6 後期)集計結果について

2025/1/10

保谷小学校 校長 加納直樹

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。学校の教育活動の振り返りと改善を目指し、学校評価の項目を一新し、保護者・児童・教職員にアンケート調査を実施させていただいております。

前回7月に実施したと同様の内容で、12月に実施しました教育調査結果をお知らせいたします。年度末のご多用の時期にもかかわらず、回答率は85%と多くの保護者の皆様にご回答いただきました。ありがとうございました。いただきました結果を真摯に受け止めて今後の教育活動に生かしていきたいと思います。集計結果につきましては裏面にまとめましたのでご覧ください。

1 調査結果より成果と課題について

【成果】

回答結果は、教員・児童・保護者とも7月とほぼ変わらない数値でした。保護者の方による調査の回答を見ると、多くの項目で肯定的評価(とても思う+そう思う)が高い結果となっています。その中でも「学校経営方針」「学級経営」「授業の工夫」「体育・健康教育」「地域とともにある学校」と、多くの項目で肯定率が75点を超え、高い評価をいただけたことは今後の励みになります。また、全校児童の回答結果では、調査項目すべてについて、肯定率が80点を超え、平均すると86.3点という、とても高い結果となりました。特に、「基本的生活習慣の指導」「防災教育」については、90点を超える肯定率でした。「授業の工夫」の児童からの評価も高い数値でした。今年度、教員がどの子にも分かりやすい授業を目指し、各教科子どもたちの興味関心が高まるような教材を準備し、指導法を工夫していることや、一人一台の専用タブレット端末を活用した授業への様々な取組などが子どもたちにも評価されたものと考えます。そして、「学習成果の実感」や「学習評価」の肯定率も高い結果となり、児童自身も4月からこれまでに多くの学びがあり、それを実感するとともに、学校で適正な評価を受けていると感じているものと考えます。

【課題】

保護者の方の回答において最も肯定率の低かった項目は、今回も「学校の取組発信」(いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決への組織的な対応や指導)が64点でした。本校は毎週月曜にいじめ防止対策委員会、木曜に生活指導夕会を開き、校内のいじめや不登校について教職員の共通理解を図っています。また、年3回のいじめアンケートの実施、SCとも連携しながら児童のいじめ・不登校などについて未然防止に努めています。しかし、毎回この項目の評価が低いのは、個人アンケートにも書かれている方がいらっしゃいましたが、いじめに対する子どもたちの認識の低さに危機感を感じている保護者の方が多く、それに対して教職員の対策やフォローが伝わらないという点が原因であると考えます。

教職員自身のこの項目の評価も低く、不登校や、いじめに対する組織的対応が学校の課題と言えます。生活指導部を中心に早急に体制を見直し、改善するようにしてまいります。他にも「教育相談体制」(子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、その解決を支援していると思う)という項目についても保護者の肯定率は69点でした。今後、全ての児童が楽しく学校へ通えるように、人間関係トラブルや悩みに対して、より一層、児童・保護者の気持ちに寄り添った対応を心がけることや、保護者との連携を密にして、日々の学校生活への支援を続けていきます。

今年度の経営方針の一つである「子どもたちみんなが友達や先生に会いたいと登校してくる保谷小学校」については、保護者・児童・教職員ともに高い肯定率でしたが、児童の評価の数値で、この項目の点数が最も低かったことが、校長として大変残念であり、学校として真摯に改善に向けて取り組んでいこうと強く思いました。今後も、「友達や先生に会いたい、いろいろな人とかわり、共に学びたい」と思われる学校づくりを目指していきたいと考えます。

2 今後の保谷小の教育について

学校評価に寄せられたご意見をもとに、教職員、学校運営協議会で検討し、子どもたちのよりよい学校生活を目指して教職員一同さらに努力してまいります。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。